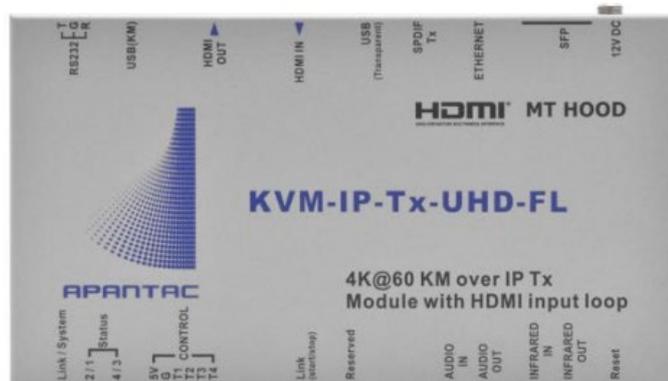
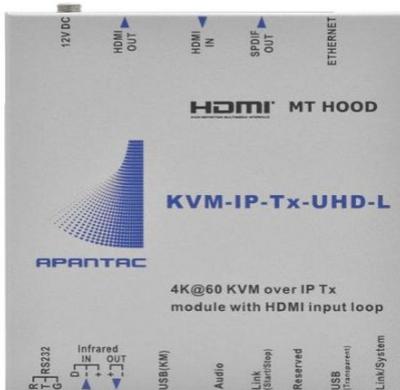


APANTAC

KVM Over IP 延長器

KVM-IP-UHD-P シリーズ設定ツール

取扱説明書



目次

1. はじめに	3
2. WebUI.....	4
2-1. 設定項目（送受信器共通）	4
2-2. 設定項目（受信器のみ）	8
3. OSD	11
3-1. メニュー表示	11
3-2. 操作方法.....	11
4. KVM over IP Setting.....	12
4-1. ダウンロード	12
4-2. インストール方法	12
4-3. アンインストール方法	14
4-4. 設定項目.....	15

1. はじめに

本書では、KVM-IP-UHD-P シリーズ（以後、機器）の設定と操作をおこなうツールについて説明します。

対応製品型番：送信器：KVM-IP-TX-UHD-L-P / 受信器：KVM-IP-RX-UHD-P

送信器：KVM-IP-TX-UHD-FL / 受信器：KVM-IP-RX-UHD-F

- ・ Web UI とは

PC ブラウザを使用し、本製品の設定を行います。

機器情報の詳細を確認できる他、ネットワークの設定やビデオウォール、USB やシリアル機能の有効無効を設定することができます。

- ・ OSD とは

受信器に接続したキーボードを使用し、本製品を操作します。

受信器と同一ネットワーク内で接続している送信器のデバイス名や IP アドレスを確認できる他、送信器を複数接続している際に、OSD 画面から任意の送信器へ接続を変更することができます。

- ・ KVM over IP Setting とは

Windows OS に対応した APANTAC 製のインストール型ソフトウェアです。

同一ネットワーク内に接続している送信器と受信器の一覧を表示できる他、任意の機器を選択し、Web UI と同様にネットワークやビデオウォール、USB、シリアル機能の有効無効が設定できます。

2. WebUI

【接続方法】

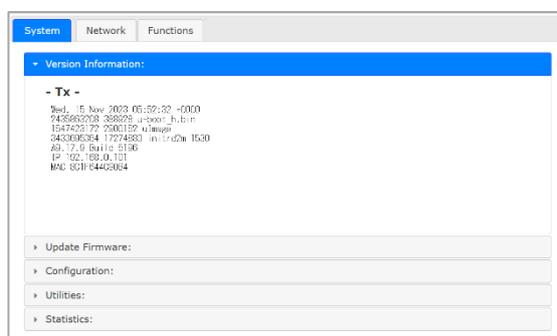
Web ブラウザの URL に機器の IP アドレスを入力、若しくは下「KVM over IP Setting」ツールから Web UI 画面を開くことができます。「KVM over IP Setting」の詳細は、13 ページをご参照ください。

2-1. 設定項目（送受信器共通）

2-1-1. System タブ

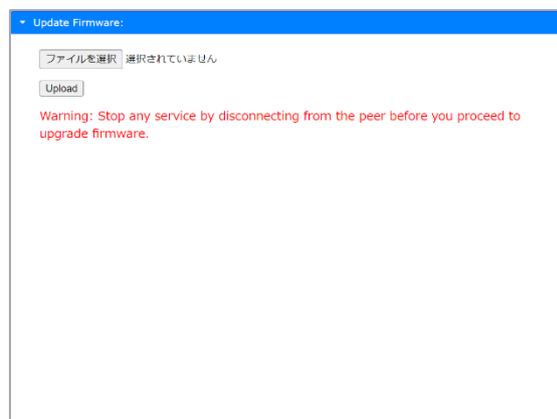
〈Version Information メニュー〉

ファームウェアや IP アドレス、MAC アドレスの情報を確認することができます。



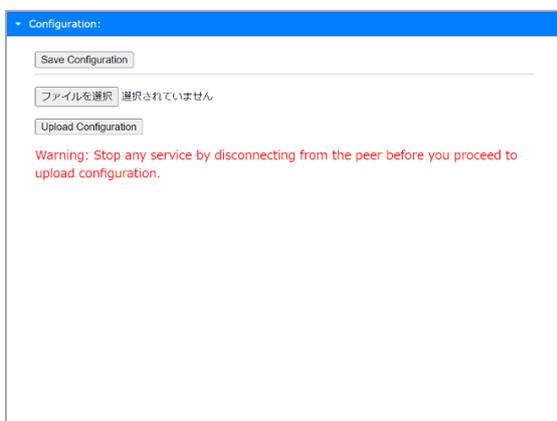
〈Update Firmware メニュー〉

ファームウェアの更新が必要な際に、データファイルを指定し、更新を行います。



〈Configuration メニュー〉

System タブ・Network タブ・Functions タブで設定した構成を保存・読み込みを行うことができます。



〈Utilitiesメニュー〉

- Commands

Factory Default : 工場状態に初期化します。

Reboot : 本体を再起動します。

- EDID (送信器のみ)

Copy EDID from EDID Master : 受信器が出力する解像度を読み取り、コピーすることで、同じ解像度を取得することができます。

Resolution : 3840x2160 60Hz~

720x480 60Hz まで任意の解像度を選択できます。

- Web

Web UI にアクセスするパスワードを設定できます。

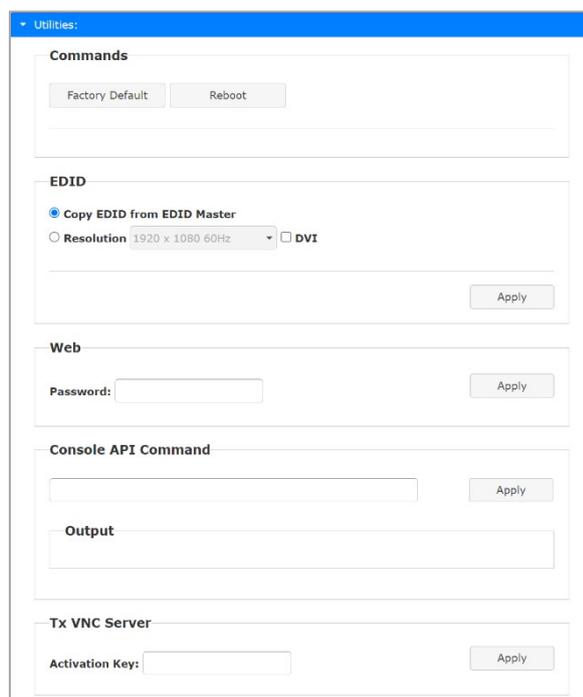
ユーザー名 : admin、パスワード : 任意

- Console API Command

検出、構成、接続、ビデオウォール等のコンソールコマンドをサポートしており、コマンド形式については SDK で入手することができます。

- Tx VNC Server(送信器のみ)

使用しません。



〈Statisticsメニュー〉

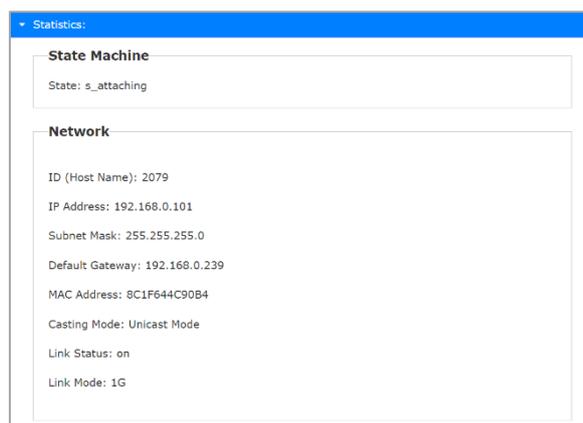
- State Machine

s_srv_on:動作中であり、アイドル中ではないことを表示します。

S_attaching:Tx にビデオ信号がないことを表示します。

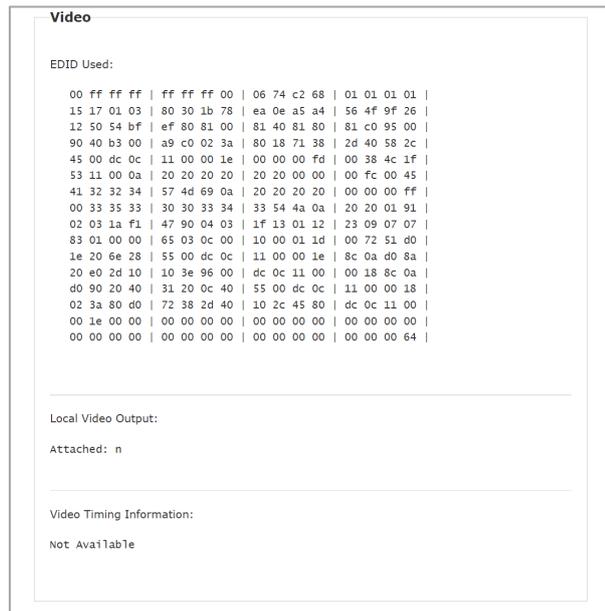
- Network

IP アドレスやデフォルトゲートウェイ等のネットワーク情報が見ることができます。



- Video

ビデオ情報が表示されます。



2-1-2. Network タブ

- IP Setup

ネットワーク設定として、「Auto IP」

「DHCP」「Static」を選択できます。

また、「Static」を選択した際に、任意の IP アドレス等を設定することができます。

※Auto IP とは、DHCP サーバーがないネットワークで、機器が他の機器と重複しないよう、自分自身で IP アドレスを割り振る機能であり、「169.254.0.0～169.254.255.255」の範囲から、他と重複しない任意の IP アドレスを選んで自動設定されます。

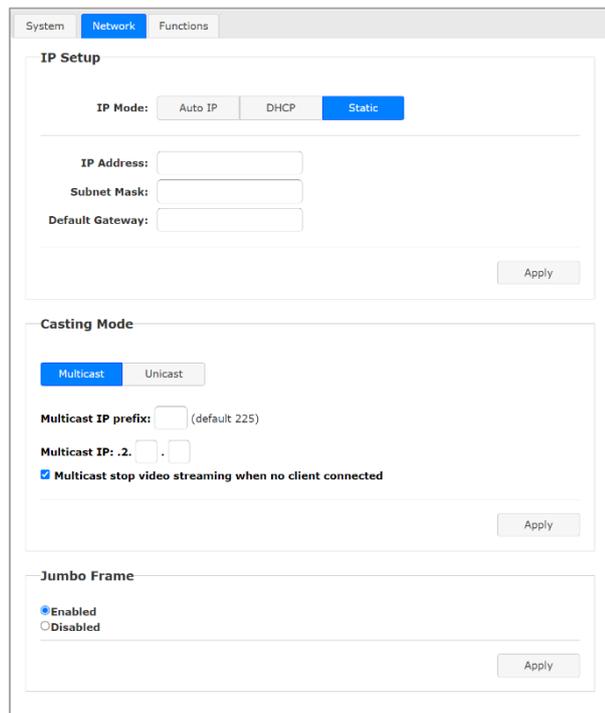
- Casting Mode

マルチキャスト、ユニキャストを切り替わられます。

その他、マルチキャストでは、マルチキャスト IP プレフィクスや接続機器がない場合のストリーミング機能について、有効無効の設定ができます。

- Jumbo Frame

Enable を選択します。また、スイッチングハブは 9K 以上に対応したものを使用してください。



2-1-3. Functions タブ

- Device Name

デバイス名を変更できます。

- Video over IP/送信器のみ

ビデオ モード / グラフィック モードを選択することができ、コンピュータの使用状況に応じて、圧縮パラメータを最適化することができます。

ビデオモード: ビデオを写す場合に選択します。

グラフィックモード: 静止画を写す場合に選択します。

※通常の状態 (送受信器間の帯域幅が適切な場合) では、違いは殆どありません。
その他に、最大ビットレートを変更できます。

- USB over IP

USB メディアの有効無効が設定できます。

※複数の RX がある場合に使用します。

Exclusive Mode : TX の 5 つの仮想 USB ポートはすべて、USB アクセス権を持つ RX に排他的に割り当てられます。

他の RX は、USB アクセスを手動で要求できます。

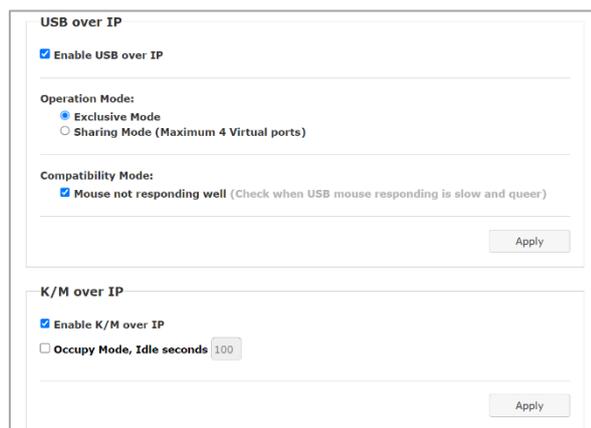
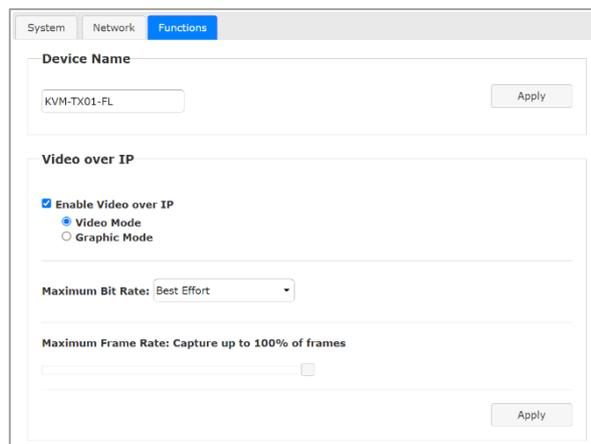
Sharing Mode: TX の 5 つの仮想 USB ポートは、複数の RX で共有できます。各 RX

上の USB デバイスの数に応じて、最大 5 つの RX が同じ TX の仮想 USB を共有できます。

- K/M over IP(送信器のみ)

※複数の RX がある場合に使用します

キーボード、マウスの有効無効が設定できます。



- Serial over IP

シリアルコマンドの有効無効が設定できる他、ボーレート等、シリアルの設定ができます。

The screenshot shows the 'Serial over IP' configuration window. It has a title bar 'Serial over IP'. Below the title bar, there is a checked checkbox 'Enable Serial over IP'. Underneath, there is a section 'Operation Mode:' with three radio button options: 'Type 1 (Need extra control instruction. For advanced usage.)', 'Type 2 (Recommended. Dumb redirection.)' (which is selected), and 'Type 1 guest mode'. Below these is a dropdown menu for 'RS232 Device:'. A section titled 'Baudrate Setting for Type 2:' contains four dropdown menus: 'Baudrate:' (set to 115200), 'Data bits:' (set to 8), 'Parity:' (set to None), and 'Stop bits:' (set to 1). An 'Apply' button is located at the bottom right of the window.

- Audio over IP

アナログオーディオや SPDIF の有効無効が設定できます。SPDIF を使用する際は、「Enable Audio Return Path」にチェックをすることで使用できます。

The screenshot shows the 'Audio over IP' configuration window. It has a title bar 'Audio over IP'. Below the title bar, there is a checked checkbox 'Enable Audio Over IP'. Underneath, there is a checked checkbox 'Enable Audio Return Path' and an unchecked checkbox 'Enable Local Audio Extraction (Extract input audio to analog)'. An 'Apply' button is located at the bottom right of the window. Below this window is another section titled 'Multi-Screen Setting' with a checked checkbox 'Main Video' and three unchecked checkboxes for '2nd Video TX IP:', '3rd Video TX IP:', and '4th Video TX IP:', each followed by a text input field. An 'Apply' button is located at the bottom right of this section.

- Multi-Screen Setting

複数の画面出力を持つ PC に便利なマルチスクリーン機能をサポートしています。PC からのマルチ出力を複数の TX へ接続し、メイン/2nd/3rd/4th を IP アドレスで設定します。

2-2. 設定項目（受信器のみ）

※送信器と同一の設定箇所については省略します。

2-2-1. System タブ

〈Utilities メニュー〉

- Rx 4C Version

1 セットのキーボード・マウスで 4 台までの RX を操作する別売りライセンスです。

別途お問い合わせください。

2-2-2. Video Wall

〈Basic Setup メニュー〉

- Bezel and Gap Compensation

幅や高さの設定ができます。

※2x2 から最大8x8 までのビデオウォールを構成することが可能です。

- Wall Size and Position Layout

縦横に設置してあるモニター数を設定できます。

- Preferences

アスペクト比や出力する画面の向きを設定できます。

その他、「Apply To: "All" device(s) in the list」から設定を反映させる機器を選択できます。

〈Advanced Setup メニュー〉

本製品では使用しません。

2-2-3. Functions タブ

- Hotkey

OSD(p.12~)画面を表示するショートカットキーを設定できます。

「Shift+Shift」「Ctrl+Ctrl」「Alt+Alt」「Scroll+Scroll」の4つの中から選択できます。

「Disable」を選択すると、OSD画面を無効にすることができます。

- Video over IP

受信器から出力される解像度をパススルーや任意のものに変更できます。

The screenshot shows the 'Functions' tab with the following settings:

- Device Name: KVM-RX-01-F
- HotKey: Ctrl Ctrl
- Video over IP: Enable Video over IP, Enable Video Wall
- Scaler Output Mode: Pass-Through
- Timeout for Detecting Video Lost: 10 seconds
- Turn off screen on video lost

- IR over IP

IR機能の有効無効が設定できます。

- Multi-Screen Setting

他に接続している受信器に対し、ミラーリングを行うようIPアドレスを入力して設定できます。

ミラーリングを行うことで、複数の受信器の画面を同じTxの画面へと1度の操作で切り替えることが可能です。

※ミラーリングを行う際は全ての受信器で設定を行う必要がございます。

The screenshot shows the 'IR over IP' and 'Multi-Screen Setting' sections with the following settings:

- IR over IP: Enable IR over IP
- IR Assignment: Video Source TX, VWall Manager (TX:)
- TX IP: [Empty field]
- Multi-Screen Setting: 2nd Screen RX IP: 192.168.0.104 Mirror, 3rd Screen RX IP: [Empty field] Mirror, 4th Screen RX IP: [Empty field] Mirror

3. OSD

3-1. メニュー表示

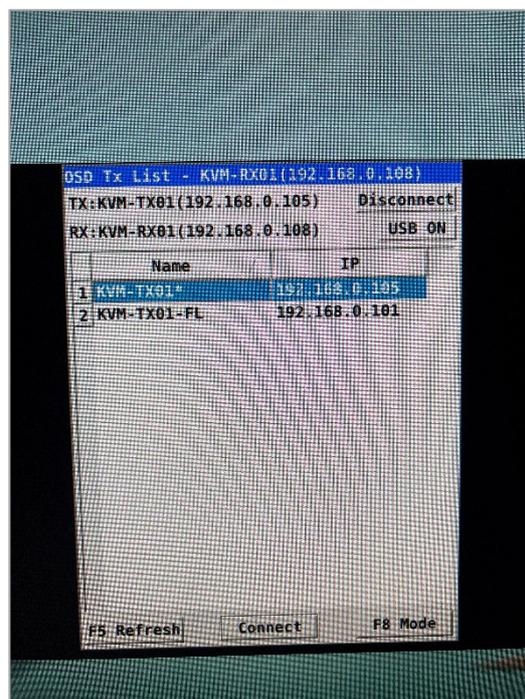
受信器に接続したキーボードの「Ctrl」を2回押すと、モニターに OSD 画面が表示されます。

※初期設定で「Ctrl+Ctrl」となっており、Web UI から「Alt+Alt」等に変更も可能です。

※各項目を選択する際は、Enter キーではなく、Space キーで選択できます。

3-2. 操作方法

- ・ Disconnect
現在接続している Tx との接続を切断することができます。
- ・ USB ON/OFF
USB メモリの使用を制限することができます。
- ・ 各送信器名と IP アドレス
表示されている任意の Tx を選択することで、その Tx の画面を表示することができます。
- ・ F5 Refresh
TX の再検出をおこないます。
- ・ Connect
送信器を選択後、押下することで画面を切り替えることができます。
- ・ F8 Mode
使用しません。



4. KVM over IP Setting

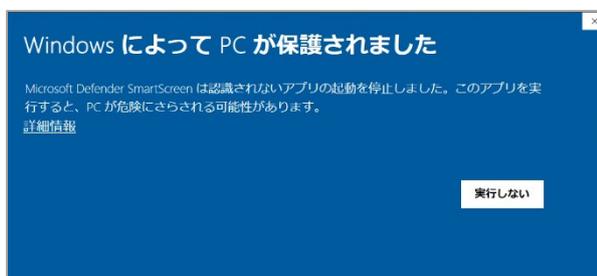
4-1. ダウンロード

下記、当社のホームページからソフトウェアをインストールいただくとご使用いただけます。

(<https://jmsg.jp/support/downloads/apantac.html>)

4-2. インストール方法

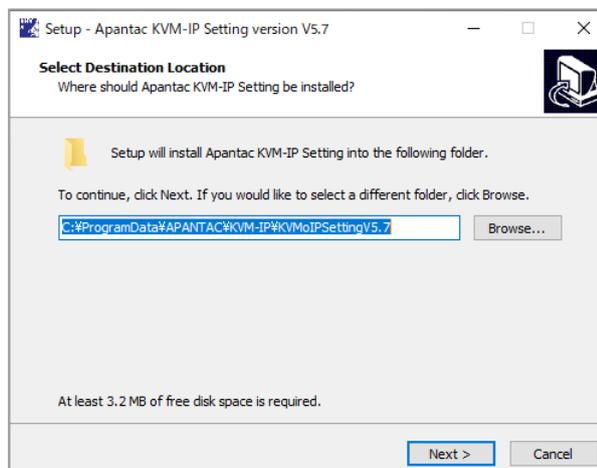
①ダウンロードした「KVM-IP Software - S」のファイルをダブルクリックして、インストール画面を開きます。



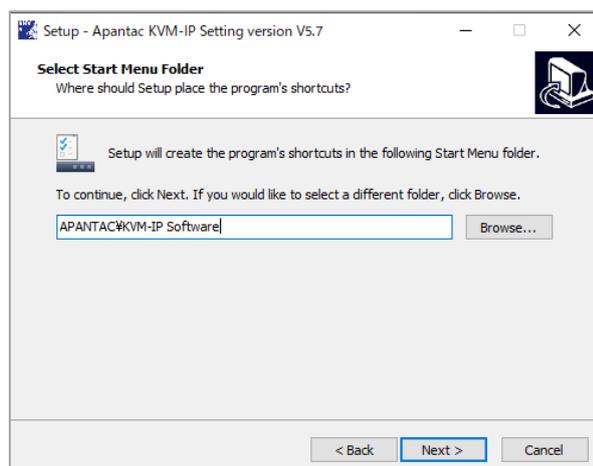
②詳細情報をクリックして、「実行」を選択します。



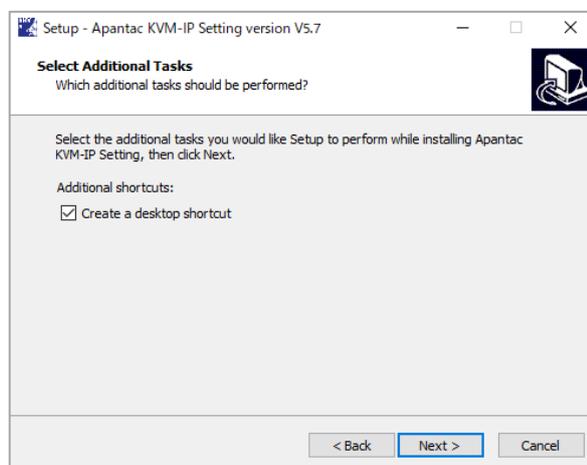
③ソフト設定の保存場所が表示されますので、保存場所の変更をする場合は、「Browse」から変更いただき、「Next」を選択します。



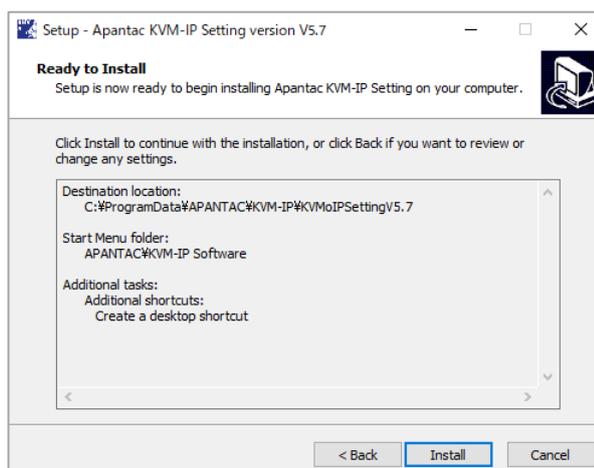
④プログラムの配置場所を選択する画面が表示されますので、保存場所の変更をする場合は、「Browse」から変更いただき、「Next」を選択します。



⑤「Create a desktop shortcut」にチェックを入れるとデスクトップにショートカットを作成することができます。任意でご選択いただき、「Next」を選択します。



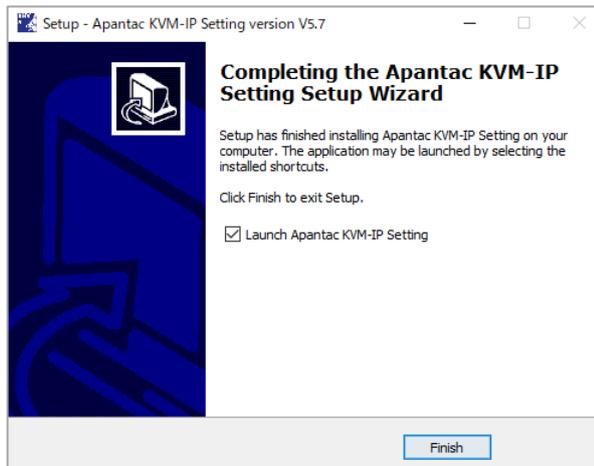
⑥ドライバーのインストールを開始する画面が表示されますので、「Install」を選択してインストールを開始します。



⑦インストールが完了したら、「Finish」を押して終了します。

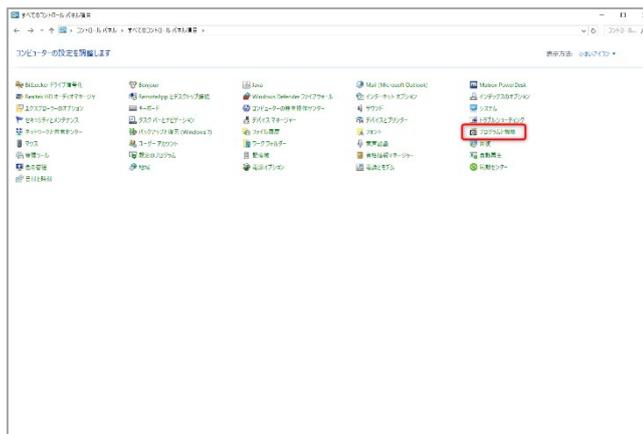
「Launch Apantac KVM-IP Setting」にチェックを入れると終了後にソフトウェアが起動します。

以上で、インストールは完了です。

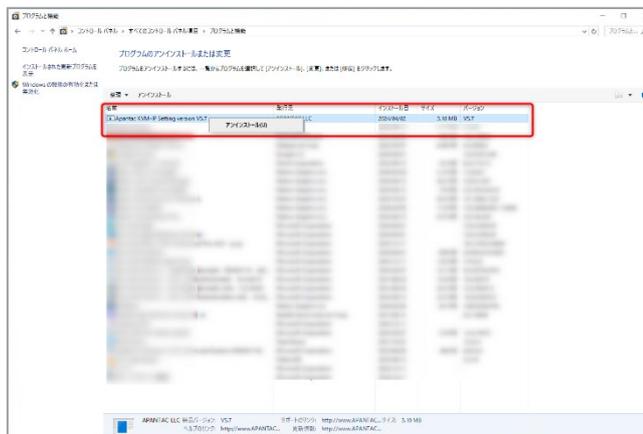


4-3. アンインストール方法

①コントロールパネルを開き、「プログラムと機能」を選択します。

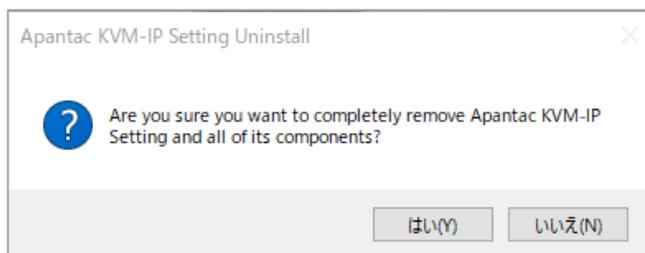


②「Apantac KVM-IP Setting version V〜」を右クリックしてアンインストール、若しくは選択した状態で左上のアンインストールを選択します。



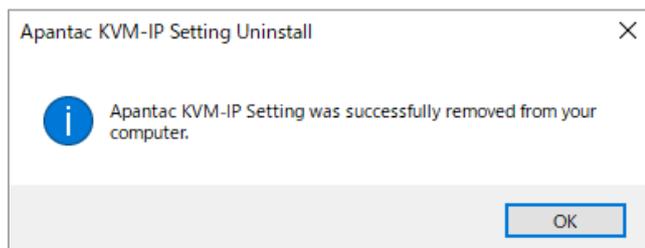
③ 「はい(Y)」を選択してアンインストールを開始します。

「いいえ(N)」を選択するとアンインストールをせず、終了します。



④ アンインストールに成功すると、正常に削除された旨の画面が表示されるため、「OK」を押して終了します。

以上で、アンインストールは完了です。



4-4. 設定項目

Transmitter 3								Receiver 3							
Name	IP	Casting Mode	VW	USB gIP	SoIP	Ver	MAC	Name	IP	Casting Mode	VW	USB gIP	SoIP	Ver	MAC
Tx_A	192.168.1.100	Multicast	N	Y	N	A7.4.2.3D	70B3D532D228	Rx_A	192.168.1.200	Multicast	N	Y	N	A7.4.2.3D-4C	70B3D532D228
Tx-PL_1	192.168.1.101	Multicast	N	Y	N	A7.4.2.3	0020FE004935	Rx-P_1	192.168.1.201	Multicast	N	Y	N	A7.4.2.3-LS	0020FE004935
Tx-PL_2	192.168.1.102	Multicast	N	Y	N	A7.4.2.3	0020FE006006	Rx-P_2	192.168.1.202	Multicast	N	Y	N	A7.4.2.3-LS	0020FE004940

同一ネットワーク内に存在する送受信器を自動的に検出します。

任意の機器をダブルクリックすることで、主要パラメータが記載された画面が表示されます。

※ 「Preview」機能については現時点では未対応となります。(今後サポート予定)

4-4-1. 送信器設定画面

- Device Name

デバイス名を変更できます。

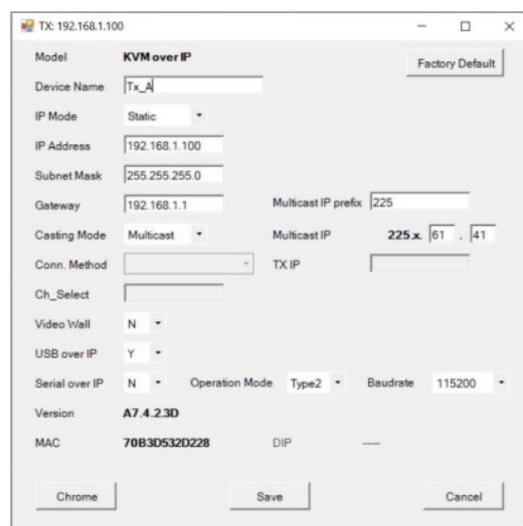
- IP Mode

ネットワーク設定として、「Auto IP」「DHCP」

「Static」を選択できます。

また、「Static」を選択した際に、任意のIPアドレス等を設定することができます。

※Auto IPとは、DHCPサーバーがないネットワークで、機器が他の機器と重複しないよう、自分自身でIPアドレスを割り振る機能であり、「169.254.0.0～169.254.255.255」の範囲から、他と重複しない



任意の IP アドレスを選んで自動設定されます。

- Casting Mode

「Multicast」「Unicast」を選択できます。

- Video Wall

機能を ON にすると Web UI で Video Wall の設定ができます。

- USB over IP

USB メディア使用の有効無効が設定できます。

- Serial over IP

RS232 機能の有効無効が設定できる他、ボーレートの数値を変更できます。

- Version

送信器の Version を確認できます。

- MAC

送信器の MAC アドレスを確認できます。

- Chrome

Web UI を開くことができます。

- Save

設定内容を保存し、機器が自動で再起動して反映させることができます。

- Cancel

設定内容を保存せず、キャンセルすることができます。

4-4-2. 受信器設定画面

- Device Name

デバイス名を変更できます。

- IP Mode

ネットワーク設定として、「Auto IP」「DHCP」

「Static」を選択できます。

また、「Static」を選択した際に、任意の IP アドレス等を設定することができます。

※Auto IP とは、DHCP サーバーがないネットワークで、機器が他の機器と重複しないよう、自分自身で IP アドレスを割り振る機能であり、「169.254.0.0 ~ 169.254.255.255」の範囲から、他と重複しない任意の IP アドレスを選んで自動設定されます。

- Casting Mode

「Multicast」「Unicast」を選択できます。

- Conn.Method

基本的には First Available を選択し、アクセスで

きる送信器を制限する際は OSD Transmitter List から送信器の IP を打ち込み、設定ができます。

- Ch_Select

最後に接続した送信器の IP アドレスが表示されます。

- Video Wall

機能を ON にすると Web UI で Video Wall の設定ができます。

- USB over IP

USB メディア使用の有効無効が設定できます。

- Serial over IP

RS232 機能の有効無効が設定できる他、ボーレートの数値を変更できます。

- Version

受信器の Version を確認できます。

- MAC

受信器の MAC アドレスを確認できます。

- Chrome

Web UI を開くことができます。

- Save

設定内容を保存し、機器が自動で再起動して反映させることができます。

- Cancel

設定内容を保存せず、キャンセルすることができます。